

## 分子マーカーから見た非小細胞肺癌の転移様式における多様性の研究

平成16年1月から平成20年12月までに当診療科において肺癌の手術を受けた方を対象に、手術時に切除された癌の組織を用いて、癌遺伝子が産生する蛋白につき研究を行っております。具体的には癌の転移に関する因子としてERCC1、VEGF、EGFRの蛋白発現を調べます。この研究は川崎医科大学の倫理委員会の審査・承認を得ています。

手術を受ける際に「手術で採取された病理材料の取り扱いと医学教育・研究使用に関する説明・同意書」にて同意を頂いている方が対象ですが、同意を撤回される希望のある方は川崎医科大学呼吸器外科ホームページからEメール(メールアドレス [gts@med.kawasaki-m.ac.jp](mailto:gts@med.kawasaki-m.ac.jp))、または川崎医科大学附属病院代表(086-462-1111)から呼吸器外科実験室(内線 25519)まで連絡をお願い致します。(担当者 湯川拓郎)